

久保英也 教授

略歴と業績

略歴

氏名：久保英也(くぼ ひでや)

生年月日：1953年7月19日 兵庫県神戸市に生まれる

学歴

- 1972年(昭和47年) 3月 兵庫県立長田高等学校 卒業
- 1977年(昭和52年) 3月 神戸大学経済学部 卒業
- 2005年(平成17年) 9月 神戸大学大学院経営学研究科 博士(商学)

職歴

- 1977年(昭和52年) 4月 日本生命保険相互会社入社
- 1985年(昭和60年) 3月 財団法人 日本経済研究センター派遣 研究員
- 1987年(昭和62年) 4月 米国シンクタンク The Conference Board (New York在) 研究員
- 1988年(昭和63年) 4月 日本生命保険相互会社 財務企画室 課長
- 1993年(平成5年) 12月 日本生命保険相互会社 総合企画部 部次長
- 1998年(平成10年) 3月 ニッセイ基礎研究所 上席主任研究員 (チーフ・エコノミスト)
- 2001年(平成13年) 3月 社団法人 生命保険協会 調査部 部長
- 2003年(平成15年) 4月 神戸大学大学院 経営学研究科 助教授
- 2007年(平成19年) 8月 滋賀大学経済学部 教授
- 2009年(平成21年) 4月 滋賀大学経済学部附属リスク研究センター センター長
- 2014年(平成26年) 4月 滋賀大学 学長補佐
- 2016年(平成28年) 4月 滋賀大学経済学部 教授 現在に至る
- 2019年(平成31年) 3月 退職予定

所属学会

日本リスク研究学会(2012年：理事・年次大会実行委員／2017年：代表理事・副会長／
2018年：代表理事・会長／現在に至る)

日本保険学会(2011年～2018年理事／2017年全国大会実行委員長)

生命保険経営学会

SRA (Society for Risk Analysis)

受賞

2007年1月	財団法人 簡易保険文化財団 優秀論文賞 受賞
2009年3月	滋賀大学 学長賞 受賞
2010年12月	文部科学省 東アジア保険研究プロジェクト採択
2011年3月	滋賀大学 学長賞 受賞

資格

1997年10月	社会保険労務士
1980年10月	宅地建物取引士

社会貢献活動

1998年6月～1999年3月	額賀・香西日本構造戦略委員会 事務局長
1999年4月～2002年3月	日本銀行 政策審議委員会室 審議委員補佐
1999年9月～2001年3月	経団連 経済本部経済情勢専門部 委員
1999年10月～2000年3月	経団連 年金ワーキングチーム 委員
2015年4月～	NPO法人びわ湖トラスト 理事(現在に至る)
2016年4月～	TCI (The global practitioners network for competitiveness, clusters and Innovation) ／2017年アジア支部理事(現在に至る)
2017年4月～	関西広域連合 琵琶湖淀川流域対策に係る研究会 ファイナンス部会 部会長(現在に至る)
2017年10月～	関西広域連合 海外ネットワーク形成アドバイザー(現在に至る)
2018年10月～	ワールドマスターズゲームズ2021関西 組織委員会 大会開催支援アドバイザー【危機管理対策分野】(現在に至る)

国際共同研究、国際地域貢献活動(グローバル活動)

2010年度	①第1回ベトナム投資シンポジウム(ベトナム通商副大臣を招請、於：大津) ②国際セミナー(劉曉梅中国東北財経大学教授を招請、於：彦根) ③国際セミナー(Ryu Geun Woo韓国啓明大学校教授を招請、於：彦根) ④国際セミナー(ベトナムハノイ国民経済大学Mai Ngoc Lan博士を招請、於：彦根)
--------	---

2011年度

- ①文部科学省特別経費「東アジア保険プロジェクト」の採択
- ②国際共同研究報告会開催「中国公的医療保険改革」
(中国側研究者5名を招請、於：彦根)
- ③国際金融シンポジウムの後援、参加(東北財経大学主催、於：中国大連市)
- ④日韓国際環境シンポジウム(嘉田由紀子滋賀県知事、Bea Hunkyun 韓国啓明大学准教授、長坂俊成日本リスク研究会会長を招聘、於：大津)
- ⑤国際セミナー(刑天才中国東北財経大学金融学院長を招請、於：彦根)
- ⑥国際セミナー(Lee Sangjoon韓国大慶圏広域発展委員会主席研究員を招請、於：彦根)
- ⑦国際セミナー(Peter Matanle英国シェフィールド大学博士を招請、於：彦根)
- ⑧日越国際研究報告会・セミナー(於：ベトナムハノイ国民経済大学)

2012年度

- ①関西広域連合、大慶圏広域経済発展委員会(韓国広域連合)、3者で協定書の締結(環境研究、地域交流の加速を目的、於：大津)
- ②第1回日韓国際環境シンポジウム開催(於：大津)
- ③国際セミナー(李商準大慶圏広域経済発展委員会主席研究員を招請、於：長浜)
- ④嘉田由紀子滋賀県知事と李仁善韓国慶尚北道副知事との女性知事対談(10/24、於：長浜)
- ⑤びわ湖ビジネスメッセに日韓特別ブースの出店(10/24~10/26、全16ブース)
- ⑥国際セミナー(金光浩韓国デグ銀行経済研究所長を招請、於：長浜)
- ⑦国際セミナー(劉波中国東北財経大学金融学院副院長を招請、於：彦根)
- ⑧国際セミナー(William Bradley龍谷大学国際文化学部教授を招請、於：彦根)
- ⑨国際セミナー(施錦芳中国東北財経大学国際貿易商務学院副教授を招請、於：彦根)
- ⑩国際セミナー(劉曉梅中国東北財経大学公共管理学院教授を招請、於：彦根)
- ⑪国際セミナー(王文亮金城学院大学人間科学部教授を招請、於：彦根)
- ⑫国際共同研究報告会開催「中国公的医療保険改革」(於：中国大連市)

2013年度

- ①世界グリーンEXPOにブースを出展(4/3~4/5：関西広域連合と共同、於：韓国デグ市)
- ②第2回環東海発展フォーラムでシンポジストとして参加(金浦項市長、イジョウンリム延迎大学経営管理学部長らが参加、於：韓国浦項市)
- ③第2回日韓国際環境シンポジウム共催(韓国啓明大学との共催、於：韓国デグ市)

- ④リスク研究センター発足10周年記念シンポジウムの開催(於:彦根)
- ⑤滋賀大学経済学部開学90周年記念シンポジウムの運営(於:彦根)

2014年度

- ①リスク研究センター・BAJS共催シンポジウム(於:彦根)
- ②第3回日韓国際環境シンポジウム共催
(韓国啓明大学との共催、於:韓国デグ市)
- ③第2回ベトナム投資セミナーの開催(ベトナム総領事参加、於:彦根)
- ④国際セミナー(Adam Komisarof韓国麗澤大学教授を招請、於:彦根)
- ⑤韓国水産業シンポジウム(Kim Jae Gwn デグ慶北経済自由区域庁室長、
同Song SeoHyeon 専門官を招請、於:大津)
- ⑥「第7回世界水フォーラム」のテーマセッション枠を国内勢で唯一獲得

2015年度

- ①第7回世界水フォーラムに参加(テーマセッションをコーディネート/
井戸敏三兵庫県知事、西嶋栄治滋賀県副知事、嘉田由紀子元滋賀県知事に加え、
内外4人の研究者で構成・運営(於:韓国デグ市)
- ②国際フォーラム参加メンバーと金慶尚北道知事・李副知事との
公式晩餐会(於:韓国デグ市)
- ③中国保険学会保険教育フォーラムで中国保険学会会長と会談、
研究報告(於:中国大連市)
- ④国際クラスター会議「18th TCI Global Conference」
(啓明大学校主催、韓国デグ市)に参加、研究報告
- ⑤国際セミナー(施錦芳中国東北財経大学副教授、於:彦根)
- ⑥国際セミナー:マレーシア経済とビジネスの開催
(ルッシーナ・シロン マレーシアテナガ大学准教授を招請、於:彦根)

業績目録

I. 著書、編著

- 『生命保険ダイナミクス』(単著)(財経詳報社/2003年5月)
- 『生命保険業の新潮流と将来像』(単著)(千倉書房/2005年9月)
- 『新・保険学』(近見正彦ほかとの共著)(有斐閣/2006年12月)
- 『保険市場の独立性と資本市場との融合』(単著)千倉書房/2009年10月)
- 『中国の公的医療保険など保険制度にかかわる計量分析』
(編集/劉波ほかとの共著/サンライズ出版/2014年3月)

『中国における医療保障改革』(編集/李蓮花ほかと共著/ミネルヴァ書房/2014年3月)

『保险的独立性及其与资本市场的融合—以日本为例』(单著)

(王美中国語訳/科学出版社(中国)/2016年6月)

II. 論文

『量的緩和政策の副作用と新たな金融政策の視点』

(吉川洋、通商産業研究所編集委員会 著『マクロ経済政策の課題と争点』東洋経済新報社/2000年4月)

『第2章 新しい金融政策の枠組みを探る』

(小川一夫、竹中平蔵 著『政策危機と日本経済』日本評論社/2001年3月)。

『高齢化社会を見据えた公的金融のあり方』

(『生命保険協会調査報告書』生命保険協会/2001年12月)

『日本の企業年金制度の現状と課題』

(『保険学会誌』第66巻: 2003-12号/日本保険学会/2003年12月)

『見直しが必要なスウェーデン公的年金のALM』

(『国民経済雑誌』第188巻第6号/神戸大学経済経営学会/2003年12月)

『スウェーデンの年金改革』(『生命保険経営』第72巻第2号/生命保険経営学会/2004年3月)

『生命保険会計の今後の方向』(『生命保険論集』第147号/生命保険文化センター/2004年6月)

『失われた「女性と年金」の議論』(『保険学雑誌』第586号/日本保険学会/2004年9月)

『「マクロ保障倍率」による生命保険市場分析と販売チャネルの将来展望』

(『保険学雑誌』第588号/日本保険学会/2005年3月)

『生命保険会社の新たな健全性指標の提案』

(『生命保険論集』第151号/生命保険文化センター/2005年6月)

『Proposal for a New Solvency Index for Life Insurance Companies:

Detection of Insolvent Companies at an Early Stage by means of

Adjusted Basic Profit and Solvency CI』(『Kobe University Discussion paper』第40号/2005年9月)

『収益力評価による生命保険会社の経営破綻リスクの早期把握』

(『保険学雑誌』第593号/日本保険学会/2006年6月)

『生命保険市場の国際的市場制約を利用した健全性リスクマネジメント』

(『2006年度 第19回研究発表会講演論文集』第19巻/日本リスク研究学会/2006年11月)

『確率的フロンティア生産関数による生命保険会社の生産性測定と新しい経営効率指標の

提案』(『保険学雑誌』第595号/日本保険学会/2006年12月)

『生命保険市場の国際的市場制約と健全性リスク・マネジメント』

(『桃山学院大学環太平洋圏経営研究』第8号/桃山学院大学/2006年12月)

『日本における保険料率自由化が損害保険業の経営効率に与えた影響—

確率的フロンティア生産関数による効率性の計測』

(『損害保険研究』第68巻4号/損害保険事業総合研究所/2007年2月)

- 「機関投資家のための信用リスク評価」
 『第20回研究発表会講演論文集第20巻』／日本リスク研究会／2007年11月)
- 「キャッシュフロー予測モデルの利用可能性の検証」
 (『保険学雑誌』第600号記念号／日本保険学会／2008年3月)
- 「再構築が求められる日本の生損保兼営グループの戦略」
 (『保険学雑誌』601号／日本保険学会／2008年6月)
- 「「融資価格」を算出する信用リスクスプレッド評価モデルの提案」
 (『彦根論叢』第374号／2008年7月)
- 「景気循環を反映した長期キャッシュフロー予測モデルの提案 —
 マクロモデルを利用した機関投資家のための信用リスク評価」
 『日本リスク研究会誌』2008年8月18巻1号／日本リスク研究会／2008年8月)
- 「Measurement of Effects and Productivity of Deregulation in insurance industry in
 Japan」(『Korean Insurance Journal』No.80／Korean Insurance Academic Society／2018.8)
- 「信用リスク構造型モデルの改善と示唆」
 (『第21回研究発表会講演論文集』第21巻／日本リスク研究会／2008年11月)
- 「日本における環境保険の普及に向けた提案」
 (『生命保険論集』No.167／生命保険文化センター／2009年6月)
- 「生命保険買取契約の価格構造と契約者還元の可能性」
 (『保険学雑誌』606号／日本保険学会／2009年9月)
- 「死亡リスクと信用リスクとの交換モデルの提案」
 (『日本リスク研究会誌』19巻4号／日本リスク研究会／2009年12月)
- 「破綻可能性の高い生命保険会社を事前に知らせるソルベンシー・ディフュージョン・
 インデックスの提案」(『第23回年次大会講演論文集』第23巻／日本リスク研究会／2010年11月)
- 「日本の保険会社における経営統合効果の計測」
 (『保険学雑誌』612号／日本保険学会／2011年3月)
- 「デフレが生命保険業に与える影響」(『生命保険経営』79巻3号／生命保険経営学会／2011年5月)
- 「中国における医療格差の多面的考察」
 (『生命保険論集』第176号／生命保険文化センター／2011年9月)
- 「死亡率統計のスムージングにおける数学的手法の提案」
 (『保険学雑誌』614号／日本保険学会／2011年9月)
- 「中国新型農村合作医療保険制度の現状とDEAモデルによる制度運営効率の測定」
 (劉波、劉曉梅と共著『保険学雑誌』613号／日本保険学会／2011年10月)
- 「On long-term credit risk assessment model and rating: Towards a new set of models」
 (with Yasuhiro Sakai)『Journal of Risk Research』／Society for Risk Analysis-Europe／2011.5)
- 「確率的フロンティア生産関数を用いた中国生命保険会社の効率性評価」
 (劉路と共著『生命保険論集』No.177／生命保険文化センター／2011年12月)

- 「DEAを用いた日本市場における国内生保、外資系生保の効率性比較」
(『彦根論叢』第390号／2011年12月)
- 「日中および相互・株式会社間の効率性比較からみた相互会社の国際化の評価」
(『保険学雑誌』616号／日本保険学会／2012年4月)
- 「もう一つの低頻度大規模災害への対応・・・金融機能の活用」
(栗山奏史、棚瀬裕明と共著『日本リスク研究学会誌』22巻2号／日本リスク研究学会／2012年9月)
- 「滋賀DI(Shiga Diffusion Indexes)、滋賀CI(Shiga Composite Indexes)を軸とした新しい滋賀県景気指標の提案」(『彦根論叢』2012冬 394号／2013年1月)
- 「貿易構造からみた日中韓FTAの実現可能性」(『彦根論叢』第395号 2013春／2013年3月)
- 「Overview cesium contamination of freshwater fish by the Fukushima Nuclear Power Plant Accidents」(with Toshiaki Mizuno『Scientific Reports』／Vol.1742 NO.3／2013.4／Altmetric pointが歴代最高点を獲得)
- 「中国地震保険創設に向けての提案—日本の経験を踏まえて—」
(施錦芳と共著『保険学雑誌』621号／日本保険学会／2013年6月)
- 「中国の充実した保険教育と学生の早期就職決定が日本の保険教育に与える示唆」
(『保険学雑誌』623号／日本保険学会／2013年12月)
- 「韓日地域反映に向けた関西広域連合と滋賀大学の「グローバル」戦略【韓国語】」
(2nd International Seminar on promoting Economic Development and Cooperation in the Far East Asian Rim, Keimung University／2014年3月)
- 「金利変化がソルベンシーⅡとソルベンシー・マージン基準に与える影響」
(王美と共著『保険学雑誌』625号／日本保険学会／2014年6月)
- 「生保の株式会社化が株式市場に与えた影響」
(『生命保険経営』82巻6号／生命保険経営学会／2014年11月)
- 「Improvement of Life Insurance Policyholders'Protection Corporation with Emphasis on Consistency with the Vietnamese Market」
(with Nguyen Nga『Journal of Economics and Development』Vol. 17 No.2／2015.9)
- 「現代ポートフォリオ理論を用いた生保の最適資産ポートフォリオの提案」
(楠田浩二と共著『保険学雑誌』631号／日本保険学会／2015年12月)
- 「琵琶湖における全循環の数値シミュレーションと気候変動の関係」
(吉田毅郎ほかと共著『生産研究』70巻1号／東京大学生産技術研究所／2018年1月)
- 「今、学会の存続をかけた若手研究者の育成—シンポジウムにおける問題提起と今後の方向性」(『保険学雑誌』640号／日本保険学会／2018年3月)
- 「国民年金未納についての計量分析」
(盛林亮介と共著『保険学雑誌』第641号／日本保険学会／2018年6月)
- 「生命保険市場分析を基礎としたベトナム農村部におけるマイクロ インシュアランス展開の可能性」(『保険学雑誌』号数未定／日本保険学会／2019年3月予定)

「琵琶湖の全循環停止リスクに対する環境リスクファイナンスの提案」
(菊池健太郎と共著『損害保険研究』号数未定／損害保険事業総合研究所／2019年3月予定)

Ⅲ. 辞書、報告書など

「欧米主要5カ国の社会保障制度と私的保障制度の役割」
(『生命保険協会 調査報告書』生命保険協会／2002年3月)

「金融分野における消費者保護の国際比較」
(『生命保険協会 調査報告書』生命保険協会／2002年6月)

『リスク学事典』(編集委員長／丸善出版／日本リスク研究学会／2019年6月)

Ⅳ. 小論文、その他

「2000年の生命保険業を展望する」(長崎大学経済学部社会人講師団 著『産業の現状と将来の展望』
えぬ編集室／1985年12月)。

「日米の産業構造の変化と為替レート—予断許さぬ貿易不均衡と為替安定」
(『日本経済研究センター会報』2月15日号／日本経済研究センター／1990年2月)

「機関投資家・ジャパンマネー」(行天豊雄、黒田真 編『日米経済問題100のキーワード』
有斐閣／1992年4月)

「主要産業中期展望：2000年の生命保険産業」
(『景気観測』1995年2月20日号／国民経済研究協会／1995年2月)

「景気月評「STP法」分析では景気は99年4月に底入れか」
(『週刊ダイヤモンド』86巻34号、ダイヤモンド社／1998年9月)

「日本経済はどうなる—新しいスタートへ」(『Insurance』1999年1月1日号／保険研究所／1999年1月)

「三つの国家ビジョンで日本再生を図れ」
(『週刊東洋経済』1999.2.13号／東洋経済新報社／1999年2月)

「政策の基本軸を見直す」(『インテレクチュアル・キャビネット』No.4／国際研究奨学財団／1999年3月)

「景気実感に近いGDPベースの月次経済指標「ニッセイフラッシュ」を開発」
(『金融財政事情』50巻19号／金融財政事情研究会／1999年5月)

「論文：当たらぬ、遅い、実感と違う「経済予測」の抜本的処方箋」
(『週刊ダイヤモンド』87巻28号／ダイヤモンド社／1999年7月)

「重要性増す経済指標の読み方—有効な供給サイドからのアプローチ」
(『レーティング情報』1999年8月号／R&I社(格付機関)／1999年8月)

「金融政策は限界か」(『ニッセイ基礎研レポート』1999年9月号／ニッセイ基礎研究所／1999年9月)

「健全性の高い日銀のバランスシート」(『週刊東洋経済』5580号／東洋経済新報社／1999年9月)

「99年度下期の景気見通し—金融政策を軸としたポリシーミックスが不況に終止符を打つ」
(『信用組合』46巻10号／全国信用組合中央協会／1999年10月)

「金融の量的緩和の是非を問う」(『日本経済研究センター会報』11月15日号／日本経済研究センター／1999年11月)

「経済情勢50年のロングレースのスタートは厳しいが、明るい」(『Insurance』新年号／保険研究所／2000年1月)

「懸念される過度な楽観構造改革モラトリアムの罪」(『金融ビジネス』179号／東洋経済新報社／2000年3月)

「1年かけ収束する家計と企業の乖離」(『財経詳報』No.2228／財経詳報社／2000年4月)

「政策危機の時代だからこそ変わる日本」(『財経詳報』No.2253／財経詳報社／2000年5月)

「今後の金融政策と日銀一財政を含め効果を模索」(『経済教室』日本経済新聞6／13／日本経済新聞社／2000年6月)

「経済学・経営学学習のために―人生の実学としての「リスクマネジメント」」(『国民経済雑誌・別冊』2004年後期号／神戸大学経済経営学会／2004年9月)

「リスクマネジメント分野の用語」(『マーケティングコミュニケーション大辞典』／宣伝会議／2006年4月)

「保険専門用語及び生命保険会計用語」(『第六版会計学辞典』／同文館出版／2007年3月)

「International Constrains on the Life Insurance Markets and Risk Management for Life Insurance Companies」(『Creativity and Innovation: Imperatives for Global Business and Development』／2007年8月)

「Analysis of Long-Term Efficiency Gains and Evaluation of Large-Scale Consolidation in Japan's Non-Life Insurance Industry」(『Japan's Insurance Market 2009』No.2009.8／The Toa Reinsurance Company Limited／2009年8月)

連載「Economic Outlook」,「Line Up 景気」(『週刊東洋経済』1998年11月～12年2月(月次:全15本)、東洋経済新報社)

連載「景気フラッシュ」(『週刊ダイヤモンド』1998年11月～2001年4月:全95本／ダイヤモンド社)

連載「(週刊)エコノミストレター」(編集委員長兼発行責任者／1998年9月～2000年4月:全120本)／ニッセイ基礎研究所／執筆は6名による交代制)

「リスク研究の相互理解の嘘とホント」(『日本リスク研究学会誌』第21巻4号／日本リスク研究学会／2011年3月)

「標準利率改定ルールの見直しが教える本質」(『金融ジャーナル』689号／金融ジャーナル社／2014年1月)

書評 大塚忠義 著『生命保険業の健全性戦略―財務指標とリスク測定手法による早期警戒機能―』(『保険学雑誌』628号／日本保険学会／2015年3月)

